

## スイッチ付電池ケース

### ◎便利なスイッチ付電池ケース

電池を用いる場合、写真1のようなスイッチ付電池ケースを用いると便利です。

一般的な電池ケースを用いる場合、電源ON/OFF用として基板側にスイッチが必要です。

これに対し、**スイッチ付電池ケースを用いると、基板側のスイッチが不要になり、部品点数も少なくなります。**

写真1

スイッチ付ケース(フタ付)

一般の電池ケース



スイッチ

SBH9VAS  
の外観

SBH3211AS  
の内部

特に写真1のタイプは「フタ付」の為、さらにすっきり電池を収納することが出来ます。

## ◎製品例

表1 主なスイッチ付電池ケース

電池	型番	メーカー	内容	電圧
単3用	SBH3211AS	<a href="#">Linkman</a>	2本直列	3V
	SBH331AS	<a href="#">Linkman</a>	3本直列	4.5V
	SBH3411AS	<a href="#">Linkman</a>	4本直列	6V
単4用	SBH4211AS	<a href="#">Linkman</a>	2本直列	3V
	SBH4311AS	<a href="#">Linkman</a>	3本直列	4.5V
	SBH441AS	<a href="#">Linkman</a>	4本直列	6V
006P用	SBH9VAS	<a href="#">Linkman</a>	1本	9V

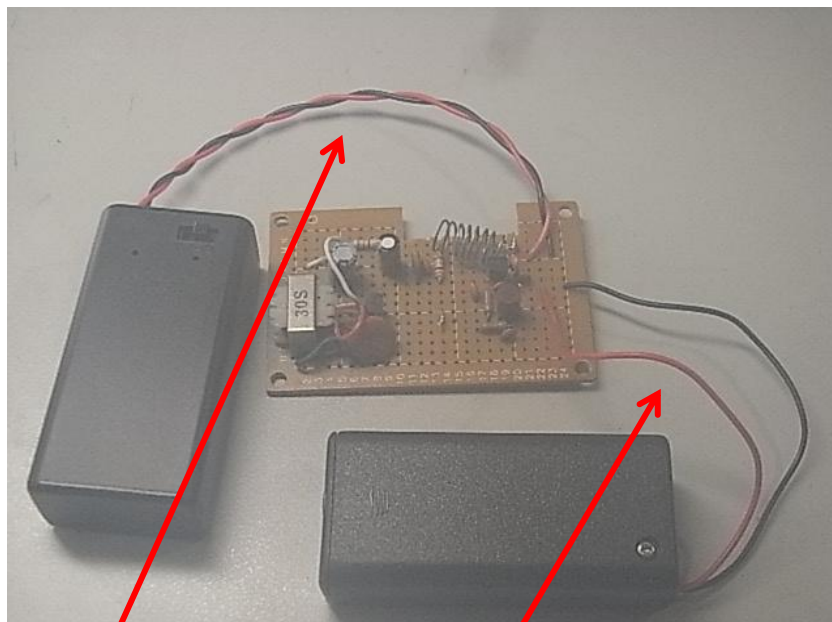
## ◎ちょっとした配線方法

電池ケースの線を基板にはんだ付けする際、写真2のように「ツイスト処理」すると、見栄えも良く、すっきりとした配線になります。

**ツイストとは2本の線を「よじる」ことです。**

本来、ツイスト(線)はノイズ対策用のケーブルですが、電池ケースの線をツイストすることにより「束線処理」を目的としています。

写真2 ツイスト処理



赤、黒2本の線を「よじる」  
→これをツイスト処理と言う。  
すっきりして見栄えも良い。

ツイスト処理しないと、線が  
ぶらぶらして邪魔。